

満開のツツジなど堪能

敷島浄水場の開放が、市制百十周年記念として、四月二十七日から二十九日も実施され、五月三日から五日と合わせ計六日間行われました。久留米ツツジをはじめさまざまなツツジの美しさを、延べ二万五千人の来場者が堪能しました。今年は冬から春にかけて暖かい日が続いたため、一週間早い時期でも場内のツツジは満開。色鮮やかな花を背景に、家族の写真を撮る姿が多く見られました。また五月三日から五日には、観光物産展を同時開催名産品を求める人でにぎわいました。



こいのぼり掲がったよ



4月25日、市役所12階市民ロビーで第四保育所の児童による手作りこいのぼりの掲揚式が行われました。52人の児童はこいのぼりの歌を元気に歌いながら、萩原市長と一緒に力を合わせてこいのぼりを掲揚。その後記念撮影を終え、市長からおみやげをもらうとみんなの顔には満面の笑みが。天井高く上がった色とりどりのコイもうれしそうでした。

元気な顔で楽しい一日過ごす

5月5日、児童文化センターで「こどもの日のつどい」が開かれました。科学教室の牛乳パックブーメランや傘袋ロケット作りは子どもたちに人気のコーナー。ボランティアの人たちは、作り方の説明に追われていました。ザリガニ釣り大会にも多くの親子連れが参加。ほかにも茶道体験コーナーや紙粘土教室、合唱団の発表などのイベントが行われ、子どもたちは元気いっぱい、楽しい一日を過ごしていました。



100歳おめでとう



須永 いしさん
下増田町

5月7日、誕生日を迎えました。相撲が大好きで、テレビ中継を見るのが楽しみ。半日くらい近所を散歩をするなど、まだまだ元気です。

魚のつかみ捕りで歓声が響く



敷島公園で四月二十九日、敷島公園まつりが行われました。フリーマーケットや輪投げ、ブラジルサンバカーニバル、魚のつかみ捕りなど、イベントが盛りだくさん。魚のつかみ捕り大会では、びしょぬれになりながら大物のウナギを捕まえた子どももいました。会場には元気いっぱいの歓声が響いていました。